

令和7年12月吉日

各 小 中 学 校 長 殿  
各小中学校・社会科主任 殿

山形県社会科研究会  
会長 山田 博志

## =山形県社会科研究会= 第38回冬季研修会のご案内

初冬の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本会では、今年も下記のように研修会を開催することとなりました。今年度は、長年にわたり本県の社会科教育にご尽力いただいている、**山形大学の江間史明先生**よりご講演をいただく予定です。社会科を専門とされている方ばかりでなく、社会科を志す若い先生方にも、本研修会に広くご参加いただければと思います。

年末のお忙しい時期での研修会となりますので、万障お繰り合わせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 言己

1 日 時 令和7年12月26日（金）

10時00分～15時30分（受付は9時30分より）

2 会 場 山形国際交流プラザ＝山形ビッグウイング（駐車場1000台）

〒990-0076 山形市平久保100番地 TEL023-635-3100

### 3 日 程

9:30	10:00	12:10	13:10	13:20	15:30
受付	分科会（研究実践発表） ①②③	昼食 休憩	全体会 開会	講演	閉会

### 4 各分科会研究実践発表者（敬称略）

#### 【分科会①】

「現在（いま）も過去（むかし）も大切にすることができる、鶴岡の未来を語れる（になう）子の育成」  
～小3年「市のうつりかわり」の実践を通して～（鶴岡市立櫛引西小学校 富樫 拓）

「根拠を持って自分の考えを伝え合い、児童同士がつながる授業づくり」

～小4年「特色ある地いきと人々のくらしースリッパをつくるまち 河北町一」の実践を通して～  
(河北町立溝延小学校 山田 多佳美)

#### 【分科会②】

「社会とのつながりを実感し、よりよい社会を創造していく力を育てる社会科学習」

～中1地理「世界の諸地域 ヨーロッパ州」の実践を通して～（寒河江市立陵東中学校 沖津 華子）  
＊今年度の県社研西村山協議会での授業を、VTRをもとに考察していきます。

#### 【分科会③】

「概念を働かせながら問題解決をしていく子ども」

～小3年「はたらく人とわたしたちのくらし」の実践を通して～（山形大学附属小学校 井上 崇）  
「社会的な課題を自分事として語り、深く考える子どもの育成」

～小5年「庄内平野の米づくり」の実践を通して～（山形市立第一小学校 本間 千晶）

## 5 講 演

# 子どものナラティブと「深い学び」の単元開発 -山形で開発してきた社会科実践とこれからの課題-

えま ふみあき  
**《講師》江間 史明 先生**

山形大学教授（大学院教育実践研究科）。1960年静岡県生まれ。早稲田大学教育学部、東京大学大学院教育学研究科博士課程（単位取得退学）、近畿大学を経て、1996年4月に山形大学に着任。

専門は、教育学、社会科教育。研究テーマは、社会科カリキュラム開発研究、小中学校での授業研究や教室での談話分析、学校と地域の連携に関する研究、学社融合と社会力の形成に関する研究など幅広い。

主な著書に、『教科の本質から迫るコンピテンシー・ベースの授業づくり』（共編著、図書文化、2015年）、「教育の方法と技術」（共編著、ミネルヴァ書房、2023年）、「教師として生きるということ 子どもを育てる教師・教師を育てる学校」（共編著、ぎょうせい、2014年）、「小学校社会科 活用力を育てる授業—体験と言葉でつくるワークショップ型社会科授業」（編著、図書文化、2008年）など。

最近の論文では、「『見方・考え方を働かせる』単元デザインと子どもの知識変容—小学校第5学年社会科「分業」と「交換」を中心概念として—」（山形大学大学院教育実践研究科年報、15号、2024年）など。

## 6 会 費 1,000円（午後のみの場合も）

## 7 申し込み方法

別添の参加申込書に必要事項をご記入の上、12月19日（金）まで 下記担当にメールまたはFAXでお送りください。

<事務局>〒990-0023 山形市松波二丁目7-2 山形大学附属小学校 内（TEL:023-641-4444）

担当 青柳 孝一 宛（mail: aoyagikoichi@fusho.yamagata-u.ac.jp）  
(fax: 023-641-8594)

## 8 その他

- (1) やむを得ず中止となってしまった時には、山形県小・中学校教育研究会HPでお伝えしますので、ご承知おきください。（<http://www.y-kyouken.info/>）
- (2) 昼食はご持参いただくか、近くの飲食店をご利用ください。